



平成 21 年 10 月 1 日

各 位

上場会社名	東洋エンジニアリング株式会社
代表者	取締役社長 山田 豊
(コード番号	6330)
問合せ先責任者	経理部長 脇 謙介
(TEL	047-454-1521)

当社子会社(東洋ビジネスエンジニアリング株式会社)における業績予想の修正に関するお知らせ

当社の子会社であります東洋ビジネスエンジニアリング株式会社は、平成 21 年 5 月 13 日「平成 21 年 3 月期決算短信」にて公表いたしました平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の業績予想につき、別紙のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本件による当社の平成 22 年 3 月期通期連結業績に与える影響はございません。

以上

各 位

会 社 名 東洋ビジネスエンジニアリング株式会社
 代表者名 取締役社長 石 田 壽 典
 (JASDAQ・コード4828)
 問合せ先 取 締 役 片 山 博
 電 話 03-3510-1600

平成 22 年 3 月期 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の業績予想につき、下記のとおり第 2 四半期（連結）累計期間業績予想を上方修正、通期業績予想を下方修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期 連結業績予想の修正

(1) 第 2 四半期連結累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	5,000	△50	△70	△40
今回修正予想 (B)	5,200	20	10	1
増減額 (B - A)	200	70	80	41
増減率 (%)	4.0%	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	7,038	227	209	116

(2) 通期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	11,000	300	250	130
今回修正予想 (B)	10,200	100	60	10
増減額 (B - A)	△800	△200	△190	△120
増減率 (%)	△7.3%	△66.7%	△76.0%	△92.3%
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	14,176	343	307	151

2. 平成 22 年 3 月期 個別業績予想の修正

(1) 第 2 四半期累計期間 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想 (A)	4,900	△50	△70	△40
今回修正予想 (B)	5,100	30	10	2
増減額 (B - A)	200	80	80	42
増減率 (%)	4.1%	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	6,940	208	192	106

(2) 通期 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	10,800	300	250	130
今回修正予想 (B)	10,000	100	60	10
増減額 (B - A)	△800	△200	△190	△120
増減率 (%)	△7.4%	△66.7%	△76.0%	△92.3%
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	13,963	272	230	100

3. 修正の理由

(1) 第 2 四半期 (連結) 累計期間 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

連結業績予想につきましては、主として自社製品 ERP 分野におけるライセンスの売上が当初の予定を上回る見通しであることや、諸費用の削減に取り組んだことから、売上高は 5,200 百万円 (前回業績予想比 4.0%増)、営業利益 20 百万円 (前回業績予想 営業損失 50 百万円)、経常利益 10 百万円 (前回業績予想 経常損失 70 百万円)、四半期純利益 1 百万円 (前回業績予想 四半期純損失 40 百万円) となる見込みです。

個別業績予想につきましては、連結業績予想と同様の理由により、売上高は 5,100 百万円 (前回業績予想比 4.1%増)、営業利益 30 百万円 (前回業績予想 営業損失 50 百万円)、経常利益 10 百万円 (前回業績予想 経常損失 70 百万円)、四半期純利益 2 百万円 (前回業績予想 四半期純損失 40 百万円) となる見込みです。

(2) 通期 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

第 2 四半期(連結)累計期間は上記のとおり、売上・利益共に上方修正となる見込みです。同第 2 四半期の受注高につきましても、主として自社製品 ERP 分野の堅調さに支えられ、全体では概ね計画通りとなる見込みですが、他社製品 ERP 分野においてその主要顧客である大企業製造業の情報化投資意欲が想定以上に落ち込んでいることから、他社製品 ERP 分野の同第 2 四半期受注高は計画を下回る見込みです。

下半期におきましても、他社製品 ERP 分野の受注環境は厳しい状況が続くものと推測されることから、同分野の通期受注高は当初計画を大幅に下回る見込みです。これにより、当社グループの通期売上高の減少が見込まれるため、通期業績予想を下方修正いたします。

連結業績予想につきましては、上記要因による他社製品 ERP 分野における受注高の減少に伴い、売上高は 10,200 百万円（前回業績予想比 7.3%減）となる見込みです。利益面につきましては、主として売上高の減少に伴う売上総利益の減少により、引き続き諸費用の削減に努めて参りますが、営業利益 100 百万円（前回業績予想比 66.7%減）、経常利益 60 百万円（前回業績予想比 76.0%減）、当期純利益 10 百万円（前回業績予想比 92.3%減）となる見込みです。

個別業績予想につきましては、連結業績予想と同様の理由により、売上高は 10,000 百万円（前回業績予想比 7.4%減）、営業利益 100 百万円（前回業績予想比 66.7%減）、経常利益 60 百万円（前回業績予想比 76.0%減）、当期純利益 10 百万円（前回業績予想比 92.3%減）となる見込みです。

なお、配当金につきましては、平成 21 年 5 月 13 日公表のとおり、1 株当たり 35 円を予定しております。

以 上

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。